

事務事業名	母子自立支援給付事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5237				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	子育て支援課	課長名	伊東 仁				
			所属担当	児童担当	担当者名	細田一樹				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 01	細目 030	細々目 04
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	28	児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	南アルプス市中等技能訓練等事業実施要綱、南アルプス市母子家庭自立支援教育訓練給付金事業実施要綱 母子					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 1. 高等技能訓練促進費推進事業・・・母子家庭の母が、看護師・介護福祉士等の資格を取得のため養成機関において修業する全期間において給付金を支給する。 2. 自立支援教育訓練給付金事業・・・母子家庭の母がヘルパー等の1ヶ月以上1年以内の養成講座を受講した場合に、受講料の一部を給付する。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他扶助(補助) 925						
				計 925						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 1. 高等技能 2名(継続1名、新規1名) 2. 教育訓練 3. 自立支援給付金の支給及び補助金申請 26年度活動予定 1. 高等技能 2名(継続1名、新規1名) 2. 教育訓練 3. 自立支援給付金の支給及び補助金申請	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 高等技能及び教育訓練受給者 人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	母子家庭の母親	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 母子家庭の世帯数 世帯
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	資格を取ることで、就職が有利になる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 受講者の就業率 %
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	就労による収入を確保し児童扶養手当を当てにせず自立につなげる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 アイウ ア 受講者の手当支給停止(一部停止)の割合 %

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			国库支出金	千円	717	1,004	1,128	940		
県支出金	千円	2,349	2,484	464						
地方債	千円									
その他	千円									
一般財源	千円	1,150	1,083	533	314					
事業費計(A)	千円	4,216	4,571	2,125	1,254	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人	1	1	1	1					
延べ業務時間	時間	15	15	15	15					
人件費計(B)	千円	68	68	68	68	0	0	0	0	
(A)+(B)	千円	4,284	4,639	2,193	1,322	0	0	0	0	
活動指標	人	3.0	3.0	1.0						
		0.0	3.0	3.0						
対象指標	世帯	630.0	666.0	666.0						
成果指標	%	100.0	100.0	100.0						
上位成果指標	%	0.0	0.0	0.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	母子家庭の母の自立支援のため。①高等技能:平成16年2月施行 ②教育訓練:平成16年2月施行③自立支援:平成18年7月施行
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	近年の不況のため就業支援を必要としている母子世帯は増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	自立支援について、「ハローワークを通しての就職活動となる(市で雇用する事業ではない)」旨の説明をすると「自分で探してみる」との返事をもらうことが多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	相談にみえた方には制度を説明するが、①は、限られた5つの資格のみで希望する方が少ない。③は、ハローワークへの紹介業務であり、直接母子家庭の母を雇用する制度ではないことから利用者はあまり増えていない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	例年どおりの事務処理のため、改革改善なし。

事務事業名	母子自立支援給付事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 高等技能訓練については、その母が希望する資格と補助対象の資格が一致した場合は、生活費を補助する有利な制度であり、資格取得後の自立へ期待できる。また、他の制度もひとり親家庭の自立へ向け経済的負担を軽減するものである。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 収入の少ない世帯に対する経済的な支援制度であり、財源としては公費を投入せざるを得ない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 制度で定められているため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 制度で定められているため、成果向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 経済的に弱い母子家庭が対象のため、自立することが <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 この制度を利用する(利用している)母子家庭があるため、休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 制度で定額が定められているため、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在も職員1名で事務を行っているため、これ以上削減することはできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 国の政策で行っている事業であり公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高等技能訓練促進費の給付費の期間及び対象となる資格については、一般財源を投入しても有効かどうか、検討課題とする。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 助成対象とする資格、職業の追加の検討をする。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 助成対象とする資格、職業の追加を追加することで効果は向上するが、財政負担は大きくなるので、必要性や費用対効果について、検討する必要がある。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					